

広島から大きな声で

改憲反対

―市民に直接訴える

藤井 純子

憲法記念日、リレートークと市民投票

かつてないほど憲法改定議論が盛んとなり

ましたが、憲法記念日の5月3日、第九条の会ヒロシマは今年も原爆ドーム前で「憲法リレートーク」と「9条を変える? 変えない? 市民投票」を行ないました。広島では連休中に平和公園でフラワーフェスティバルがあり、多くの人が集まります。その中で「あなたは憲法9条を変える? 変えない? 市民投票をお願いしま〜す」とシールを渡すと若い人も9条は知っていて「9条は変えん方がいい」といって自信を持って貼っていきます。時には大人でも「9条ってなんだっけ?」と聞く人がいますが、「戦争放棄」の条文を示すと「日本は戦争をしちやいけんのんよね」と思

い出すようです。「去年も貼ったよね」と話す親子もいます。中にはツンとして「変える」に貼っていく人もいますが、今年も8割に近い人が9

条を変えない選択をしました。お祭りを楽しむ人たちはやっぱり9条が好きなんですよ。

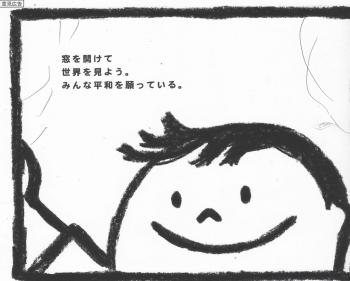
リレートークでは改憲、原発問題ほか、広島で取り組まれている在外被爆者、日本軍「慰安婦」、教科書、基地問題についても話して頂きました。人権に関わることなら何でもあります。

市民に直接訴え、即行動

私たちは、講演会などは広島県9条の会ネットワークと協働して行ない、室内の活動は総会(世話人会 やミニ学習会にとどめ、市民に直接、接する活動をと心がけています。1992年、湾岸戦争後の改憲の動きを阻みたいと結成し22年目になりますが、その頃、原爆詩人の栗原貞子さんも世話人で核兵器のみならず、侵略戦争のこと、憲法のこと、日本、広島歴史など様々なことを話されていました。その中で「これからは平和憲法の素晴らしさは街角に立って訴えていくべきだ」と強く言われ、私たちも大きく領き、今も外に出て市民に働きかける活動を中心としています。

また私たちの取り組みは9条改憲に限りません。原発問題は、3・11以前から上関原発建設に反対し、ネットワークを作って祝島島民に思いを馳せ、中国電力本社前行動に参加してきました。私自身、基地・自衛隊問題に取り組むビ-

「窓を開けて」 第九条の会ヒロシマ
6月29日意見広告紙面案イラスト



スリンクのメンバーであり即行動派。5・11伊方原発再稼働に反対する海上行動でボートに乗り、5・12はオスプレイ・米軍機低空飛行訓練問題に島根、山口とも連携して取り組もうとネットワークをたち上げます。広島県9条の会ネットも今年の参議院選に向け、広島県の3分の1の40万世帯にジャンボチラシを配布します。が、全国でも何カ所かで取り組まれるようです。

今年は新聞意見広告を2回掲載

市民に直接という意味で私たち第九条の会ヒロシマが一番力を入れて取り組んできたのは8・6新聞意見広告です。今年は夏の参院選挙がとて重要。改憲問題、原発、基地、人権問題をしっかりとらえる選挙にすべきだという新聞意見広告にしようという準備をしています。8月では間に合わないので参院選前、6月29日に憲法をまもる人を選ぼうとまず1回、2回目の8・6は、核も軍隊も使わない社会をめざし議員を監視しようという新聞意見広告を掲載することにしました。2回なんて無謀? でも総会では前向きな意見ばかりでした。「市民の意見30の会」でも私たちの意見広告チラシをニュースに同封して下さり元気百倍です。

改憲反対、広島でも行動していきます。広島意見広告も応援してくださいね。

(ふじい・すみこ/第九条の会ヒロシマ)



筆者